



▲「おもちゃのもり」には個性豊かな昆虫達が隠れている

併設され、誰でも気軽に憩いの時を過ごすことが出来るエリアとなっている。

2階（有料エリア）がおもちゃ美術館のメインフロアとなっている。

館内のおもちゃや内装は地元奈良県産材のスギやヒノキをふんだんに使用し、約300種類、約5000点もの国内外の木のおもちゃが子ども達を温かく迎える。床には主にヒノキ材を使うことで、柔らかな歩き心地と、木の匂い・温もりを足下から感じられる。この目の前に広がる木質空間と、子ども達が元気に走り回り喜ぶ様子に、これから何が始まるのかと期待に胸が膨らむ。

入り口すぐには、色や形が個性的な原木による「おもちゃのもり」エリアがある。原木には木で出来たユニークな昆虫が隠れており、子ども達は採集

遊びを楽しめる。隣の「ごっこファーム」エリアでは、木でできた柿や、きゅうり、しいたけ、地元の大和丸なすなど、数百点もの名産野菜・果物の収穫体験が出来る。

昆虫や、野菜・果物はマグネット方式でくっつき、手でひっぱると実際に収穫した感覚が残るのが楽しい。取材時にも、ひとつひとつ丁寧に整理しながら収穫する子や、とにかく量を収穫する子など、子ども達それぞれの個性が垣間見え、こちらまで思わず笑顔になってしまう。

この二つのエリア中央には、奈良県を流れる大和川をイメージした、子ども達に大人気の木のたまごプールがある。木のたまごは、地元吉野産のヒノキ材が使われ、その数は全国のおもちゃ美術館でも最多の約2万個だそう。子ども達もたまごのツルツルとした



▲「ごっこファーム」に実る色とりどりの野菜や果物に子ども達は夢中になっていた



▲「赤ちゃん木育ひろば」は安心してハイハイ出来る、ゆったりとしたスペース。奈良らしい鹿の乗り物もかわいい

肌触りに身をゆだねて気持ち良さそうに遊んでいる。他にも、木板を積層して表現された地元の信貴山や、壁面に咲き乱れるサクラ（三郷町指定の天然記念物）のディスプレイなど、子ども達に地域の魅力を伝え、地元を好きになってもらう仕掛けが目白押しだ。

0～2歳児を対象とした「赤ちゃん木育ひろば」は、一室の空間に仕切り、安心・安全なおもちゃと共に乳児の親子連れでもゆったり遊べる空間となっている。床材も赤ちゃんが安心して遊べるよう、ヒノキよりも柔らかく、保温性があるスギが使われ、樹種の特性を捉えた素材選定がされている。

奥へは、煌びやかな朱雀大路を模した「おもちゃの平城京」エリアが続いており、お店やさんごっこや、コマ回し、けん玉など、懐かしい遊びで親子



▲入り口すぐのメインエリア。大和川をイメージした「木のたまごプール」が流れる



▲前田英隆館長

3月20日(木)、奈良県三郷町に関西地区初の「奈良おもちゃ美術館」が、旧奈良学園大学三郷キャンパス跡地にあり「FSS35キャンパス」内にオープンした。全国各地で多くの人達に親しまれるおもちゃ美術館は、「認定NPO法人 芸術と遊び創造協会（多田千尋理事長）」が総合監修する、多世代が一緒に遊び、学べる「木育」がテーマの体験型施設である。奈良おもちゃ美術館は、全国で13番目のおもちゃ美術館となる。同施設は、最寄りのJR三郷駅からの無料シャトルバスで約4分、また大阪からJR線1本で来られ

関西初！全国で13番目となる「奈良おもちゃ美術館」が開館！

インクルーシブな取り組みで誰もが一緒に交流できる場所へ

る、無料駐車場（327台）の完備など、交通の利便性も良い。

奈良おもちゃ美術館が誕生するまで

三郷町では、奈良学園大学のキャンパス統合で閉鎖された三郷キャンパス跡地・建物の無償譲渡を受けたことをきっかけに、この場所を「誰もが生き生きと暮らせる『生涯活躍のまち』」を目指した象徴的なエリアとするべく、2023年3月に「FSS35キャンパス」をオープンした。同町の理念に共感する民間事業者をプロポーザルで募る中、「社会福祉法人 檸檬会」（前田効多郎理事長）が、「認定NPO法人 芸術と遊び創造協会」に声を掛けたことで、関西初のおもちゃ美術館が誕生し、同町の指定管理を受け運営することになった次第だ。

檸檬会は、和歌山県紀の川市に法人本部を置き、主に保育事業や、障がい福祉事業を通して、「誰もが人生を楽しみ、躍動する機会が得られる社会づくり」をビジョンに掲げて全国的に活動する社会福祉法人である。FSS35キャンパス敷地内の一部は、檸檬会が運営する教育と福祉の総合コミュニティ「ソーシャルインクルージョンヴィレッジ」となっており、就労支援施設や日本語学校、通信制高校、レストランなど、同法人が手掛ける様々な事業の柱が一堂に集まり、共生社会の実現へ向けたコミュニティが形成されている。

その為、奈良おもちゃ美術館は、同法人がこれまで培ってきた知見やノウハウを活かし、おもちゃ美術館の長い歴史の中で初となる、「障がいのある



▲教育と福祉の総合コミュニティ「ソーシャルインクルージョンヴィレッジ」。キャンパス敷地内には檸檬会が運営する各事業所が点在する

方々が働くおもちゃ美術館」となっている。

そんな奈良おもちゃ美術館で優しい笑顔で子ども達を迎えるのが、前田英隆館長である。前田館長は、長年、特別支援学校で教員を勤め、その後、檸檬会で保育の現場に携わってきた福祉のスペシャリストだ。

奈良おもちゃ美術館の愉快な館内

奈良おもちゃ美術館は、旧大学の風格ある図書館棟を活用して運営されている。

1階（無料エリア）の広々としたワンフロアには、奈良のコーヒー専門店「ロクメイコーヒー」が監修したこだわりのコーヒーを嗜めるカフェや、全国から寄付された1000冊以上の本がずらりと並ぶライブラリーコーナーが



▲「おもちゃの平城京」のお店やさんごっこエリアは本格的な店構え。木で出来た材料を楽しく調理し、「お店」のイロハを学べる



▲大人気の神楽舞台での積み木くずしイベント。2000ピースの積み木が綺麗に崩れる様子に皆、拍手喝采。

が楽しむ様子が見られた。他にも、認定NPO法人芸術と遊び創造協会が毎年認定するグッド・トイの歴代受賞おもちゃで遊べる「グッド・トイルーム」や、世界中で親しまれるボードゲームなど、ここでしか味わえないこだわりのおもちゃを取り揃えている。

最奥のエリアには、伝統ある神楽舞台をデザインに取り入れた広いステージがあり、ヒノキ材を使った約2000ピースの積み木で子ども達が想像力を働かし、各々自由な作品を作ることが出来る。ここで毎日開催される積み木を崩すイベントは大人気の催しで、これを目当てに来場する親子連れも多

い機会にもなると思います。子ども達はひとつのおもちゃゾーンで1時間も熱中して遊ぶことも多いそう、あれやこれやと想像力を働かせる姿は何とも微笑ましい。

この奈良おもちゃ美術館に対する期待の声は大きく、同施設建設に向けて実施されたクラウドファンディングでは、目標の400万円を上回り、総額490万円もの支援が集まった。クラファン以降も、一口から可能な支援制度で寄付した支援者は「一口館長」となり（金額による）、同館から好きな名前を刻める人型の積み木を送られる。来場した際に、その積み木を、階段踊り場に設けた台座に飾れるのだ。

前田館長「オープンしてから大忙しで怒涛の3週間でした、既に1万人近くの方々が遊びに来てくださいました。支援額が目録額に達したのも、皆様、そして広報の方々が頑張ってくれたおかげです」と、周りの人々への感謝を述べている。

働くみんなでつくる おもちゃ美術館

奈良おもちゃ美術館で働くのは、樟葉会の職員、養成講座に参加したボランティアのおもちゃ学芸員、そして障がい者の方々と、子ども達の安全を守りながら一緒に遊ぶなどして交流している。障がい者被雇用者の方々は、キャンパス敷地内にある樟葉会の就労継続支援事業所、レイモンドマネジメントから派遣され、1日に6〜8名が働く。業務内容は、館内を快適に過ごせるよう、おもちゃの整理整頓や館内の掃除、積み木イベントの手伝い、カフェ業務など多岐にわたり、個々の障がいの程度や特性に合わせた労働環境が整えられている。障がい者就労の専門スタッフによるサポート体制も充実しており、障がい者の方々は「仕事を楽しんでいる」と話しているそうだ。

前田館長「一緒に働いていく中で、『この人は人が少し苦手だな』、『耳が聞こえにくいかな』とか、夫々の障がいの特徴について理解を深め共有し、障がいの有無に関わらず、お互いに歩み寄り、みんなで学んでいくことが大切だと思っています」。前田館長の優しい人柄、そして誰もが生きがいを持てる社会への強い想いと信頼感からか、従業員を含め館内にいる人達は皆、笑顔で溢れている。

前田館長「インクルージョンの考え方が社会的にも浸透してきている現代に、おもちゃ美術館という歴史あるブランドを通して、私達が目指す『誰もが生きがいを持てる社会』を目で見るカタチで表現出来ることを嬉しく

思います。そして何よりも、ここを何度も足を運んでもらえる美術館にしたいですね。積み木崩しイベントの他にも、オリジナルのおもちゃが作れるワークショップなど、皆様が楽しめる仕掛けをこれからもどんどん提供していきたいです」と、これまた笑顔で語ってくれた。

このキャンパス内で、互いの理念に共感した民間団体と行政が協力し、「それぞれの個性を受け入れ、誰もが手を取り合う未来の社会」のあるべき姿が見られた気がした。幼少期から木の温かみに触れる木育もそうだが、当たり前前に誰もが生きがいを持って過ごしている姿を子ども達に見せていくことは、これからの社会を築き上げる子ども達にとっても、かけがえのない経験となっていくだろう。

■奈良おもちゃ美術館

・住所 奈良県生駒郡三郷町立野北3-12-17、☎0745-4317800

・営業時間 奈良おもちゃ美術館10時〜16時、他施設はHPを要確認

・休館日 毎週木曜日（木曜日が祝日の場合は開館、翌平日振替休館あり）、年末年始。他施設はHPを要確認

■社会福祉法人樟葉会

・代表者 前田効多郎理事長

・法人本部 和歌山県紀の川市古和田240

TEL 0736-791731

3



▲奈良おもちゃ美術館